

## 議会ポスト 意見等への回答

作成日：令和4年6月30日

作成者：上越市議会 議長

### 寄せられた意見等

「上越市の子どもたちの心身の健全な成長・発達のための教育活動を求め、それにかかわる多様な考え方や選択を尊重することを求める請願」の再審議を拝見して

6月10日の文教経済常任委員会による請願第二号「上越市の子どもたちの心身の健全な成長・発達のための教育活動を求め、それにかかわる多様な考え方や選択を尊重することを求める請願」の再審議の様子を拝見しました。

色々な意見がある中で議員さん方も苦勞されているかと思います。その中で気になったのは最後に議長より「議員間の議論はあるか」という問いに対して誰も何も言わなかったことです。どんな意見でもそれは一人一人尊重されるべきだと思います。しかし、なぜ意見を交わさないのでしょうか。それぞれ思いがあるはずですが、満場一致ならともかく、意見の食い違いがあったわけですから互いの主張に対する質疑を十分行い、それに対する応答があるからこそ議会というものの存在価値があるのではないかと考えます。

また、個人的意見を申し上げますと、数名の議員が仰っていたような「すでにマスクに対する通知がなされているので議会としてこれ以上することは無い」という見解は非常に狭い見識と言わざるを得ないと思います。通知があったからすぐに市民が反応するかと言えばそんなことはありません。いまだに暑さの中マスクをしている子どもが大勢います。それは子ども自身が選択しているだけでなく、教員や保護者、周囲の子どもによるプレッシャーによって着けざるを得ない、という状況の子どもが多々いるということです。だからこそ通知を出して終わり、ではなく粘り強く継続的に熱中症のリスクを伝え続けることが必要であると考えます。何よりも次代を担う子どもたちが大切だと考えるのであれば、通り一遍の対応で済ませるのではなく、真剣に子どもたちを守る意識をもって討議・選択をして頂きたいと思います。

いま、正に子どもを産み・育てている親たちの声に耳を傾けていただきたい。私は遠くさいたまの地にいますが、上越市議会の動向を注視しています。

## 回 答

この度はご意見を頂き、ありがとうございます。

はじめに、議員間の議論についてのご意見にお答えいたします。

上越市議会基本条例では、議員間の自由な議論を議会及び議員の活動原則としております。

このため、「互いの主張に対する質疑を十分行い、それに対する応答があるからこそ議会というものの存在価値がある」とのご意見は、議員間の議論に大変重要なことであると考えられます。

6月10日の文教経済常任委員会では、ご指摘のような委員間の討議こそありませんでしたが、各委員は自らの考えを述べており、それぞれが市民の代表たる議員の職責を果たそうとしておりました。

今回いただいたご指摘を踏まえ、今後も委員会における自由な議論がますます闊達になるよう努めてまいります。

なお、今回いただきましたご意見は、全議員に配布させていただき、今後の審議に役立てて参ります。これからもご意見、ご要望などをお聞かせいただきたいと思います。